

要 請

今、我が党は結党以来の危機的状況に直面している。

七月二十日投開票にて実施された参議院選挙において、神奈川県では党员党友をはじめ地方組織が死力を尽くし選挙戦を戦った結果「脇 雅昭」公認候補が当選を果たすことができた。

しかしながら、今回の参議院選挙では、選挙前の五十二議席から三十九議席に減、比例代表に至っては過去最低の十二議席、三十二ある一人区では二十八議席から半減の十四議席となり、総裁が「与党としての必達目標」と明言していた五十議席に届かず、国民からノーを突き付けられた選挙結果であったと言わざるを得ない状況である。

そのことにより、衆議院だけでなく参議院も少数与党となり、更に厳しい国会運営を余儀なくされることとなった。

報道各社からは東京都議会議員選挙も負けの一つに加えられ、自民党は三連敗、スリーアウトチェンジという言い方での報道も見受けられる。

また、県連所属議員からは、これでは今年の党员集めはできない。新生自民党を見せられなければ今後の選挙は戦えない。また、県内党员からは総裁が辞めなければ、はじめにならない、今後は支持できない。などの厳しい意見が多数寄せられている。

これまで、様々不祥事や問題が発生する度に、誤りを正さない自民党、不祥事に蓋をする自民党などと揶揄されてきたが、党がその都度、原因の所在を確かめ、党员・国民に結果を明らかにしていれば、そのような言われ方はなかったのではないかと考える。

日本を前に進めることができる政党は自民党なのである。地方組織と党本部が一致結束して、進めなければならぬ課題を前に進め、豊かで安全で安心な暮らしを取り戻すために、今回のことが党内政争などと表現される事態に発展する前に、速やかにはじめをつけ、自民党の出直し・再出発のために、国民・党员に向け責任の取り方を明解に示すことを強く要請する。

令和七年七月二十三日

自由民主党

総 裁 石 破

茂 殿

幹事長 森 山

裕 殿

自由民主党神奈川県支部連合会